

2022年12月21日

各位

会社名 株式会社 デジタルプラス
 住所 東京都渋谷区元代々木町 30 番 13 号
 代表者名 代表取締役社長 菊池 誠晃
 (コード番号：3691 東証グロース市場)

問い合わせ先 取締役 CFO 加藤 涼
 兼 グループ 本部長

TEL. 03-5465-0690

〔訂正〕「2022年9月期（通期）決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2022年11月14日に開示した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

1. 訂正の理由

当社が2022年11月14日に開示いたしました「2022年9月期（通期）決算説明資料」の記載内容に一部誤りがあったため、その訂正を行うものであります。

2. 訂正内容

「2022年9月期（通期）決算説明資料」16ページ「連結貸借対照表（B/S）」の数字を修正。なお、訂正箇所は、＜訂正後＞の資料に赤字で表記しています。

＜訂正前＞

連結貸借対照表（B/S）

既存の借入金は、2億円の預金担保となっていた借入を含め、第3四半期会計期間で返済完了、新規で借入を2.3億円を実行をした結果、**今後のフィンテック・セグメントの成長資金を確保**

単位：百万円	2022年9月期 第4四半期末 (2022年9月30日時点)	2021年9月期末 (2021年9月30日時点)	前期末比	2020年9月期末 (2020年9月30日時点)	前々 期末比
流動資産	1,318	879	149%	1,346	97%
うち現金及び預金	921	601	153%	1,086	84%
固定資産	109	418	26%	73	149%
総資産	1,428	1,298	110%	1,420	100%
流動負債	432	457	94%	571	75%
うち一年内返済 予定の長期借入金	76	37	200%	85	89%
固定負債	195	0	—	42	460%
純資産	799	840	95%	806	99%
負債及び純資産	1,428	1,298	110%	1,420	100%

当社考察

① M&Aの積極的な推進と、フィンテック・セグメントにおける開発資金、陣容拡大等に対応するため新規借入れを行い、末期以降の更なる成長に向けた足元の流動性を確保

② メディアの売却及び減損により固定資産及び純資産が減少しているが、高い自己資本比率を維持加えて上記リスクオフにより、来期以降の減損リスクを排除

<訂正後>

連結貸借対照表 (B/S)



既存の借入金は、2億円の預金担保となっていた借入を含め、第3四半期会計期間で返済完了、新規で借入を2.3億円を実行した結果、**今後のフィンテック・セグメントの成長資金を確保**

単位：百万円	2022年9月期 第4四半期末 (2022年9月30日時点)	2021年9月期末 (2021年9月30日時点)	前期末比	2020年9月期末 (2020年9月30日時点)	前々 期末比
流動資産	1,318	879	149%	1,346	97%
うち現金及び預金	921	601	153%	1,086	84%
固定資産	216	418	51%	73	294%
総資産	1,530	1,298	117%	1,420	107%
流動負債	463	457	101%	571	81%
うち一年内返済 予定の長期借入金	76	37	200%	85	89%
固定負債	267	0	—	42	460%
純資産	799	840	95%	806	99%
負債及び純資産	1,530	1,298	117%	1,420	107%

当社考察

- ① M&Aの積極的な推進と、フィンテック・セグメントにおける開発資金、陣容拡大等に対応するため新規借り入れを行い、来期以降の更なる成長に向けた足元の流動性を確保
- ② メディアの売却及び減損により固定資産及び純資産が減少しているが、高い自己資本比率を維持加えて上記リスクオフにより、来期以降の減損リスクを排除

16

※当社ホームページに、修正後の決算説明資料を掲載しております。

以上